

## 県立むつ養護学校のスクール・ミッション及びスクール・ポリシー

### スクール・ミッション（各校の求められる役割、目指す学校像）

- 一人一人の障がいの状態等に応じて、その時に最も必要な教育を行うとともに、学んだことを生かしながら、自立と社会参加に向けて、主体的に学び続ける幼児児童生徒を育てます。
- 家庭や地域、関係機関と連携し、協力して幼児児童生徒を育てるとともに、障がいのある者と障がいのない者が支え合い、認め合える社会の実現に向けた取組を推進します。
- 幼児教育施設、小・中学校、高等学校等とつながり、必要な支援に努めながら、地域の特別支援教育の推進に貢献します。

### スクール・ポリシー（一貫性を持って教育活動を進めるための具体的な3つの方針）

#### 【グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）】

次のような資質・能力を育成します。

- 心身ともに健康なこども
  - ・進んで体を動かし、運動を楽しむ。
  - ・安全に気を付け、危険から身を守る。
  - ・望ましい生活習慣を身に付ける。
- 豊かな心で集団生活ができるこども
  - ・友達と関わりをもち、仲良く遊ぶ。
  - ・物を大切に扱い、決まりや約束を守る。
- 働くことを喜び、たくましく生きるこども
  - ・自分の役割を理解し、生活に必要な技能・態度を身に付ける。
  - ・働くことの大切さと喜びを知り、仕事に励む。

#### 【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）】

次のような教育活動を実施します。

- 児童生徒の実態や特性に応じた教育課程を編成します。
- 小学部、中学部、高等部の系統性のある指導に取り組みます。
- 児童生徒の自己実現（自分の役割、自分らしさ）をめざした指導を展開します。
- 居住地校交流や学校間交流、外部講師活用授業など、地域社会と触れあいながら経験の拡大や社会性の育成に取り組みます。
- 作業学習や産業現場等における実習等を系統的に実施し、キャリア発達を促すとともに、将来地域で働く力を育てます。
- PDC Aサイクルの視点から教育活動の改善を図ります。

#### 【アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）】

次のような生徒を求めています。

- 将来の夢や探究する志をもち、何事にも主体的に考え、判断し、根気強く取り組む生徒。
- 地域の一員として、地域に貢献して新しい時代を主体的に切り拓いていく生徒。